

第29号 TOPIX

- 1 武道館の柔道畳が新しくなりました!
- 2 2013年度「ALSOK柔道教室」の開催について(柔道)
- 3 大相撲巡業 松山場所
「武道館で迫力の大相撲を満喫!!」(相撲)
- 4 少林寺拳法について(少林寺)
H26も、武道館はやります!!

■愛媛県武道館

開館時間：午前9:00～午後9:00

休館日：毎週月曜日(月曜日が休日の場合は、直後の休日でない日)

住所：愛媛県松山市坪西町551番地

TEL：089-965-3111 FAX：089-965-3388

ホームページ：<http://www.ehimekenbudoukan.or.jp>

予約システム：https://www.pref.ehime.jp/s_yoyaku/servlet/Top

武道館の柔道畳が新しくなりました!



平成29年に開催される「えひめ国体」に向けて、昨年12月20日に柔道畳が整備されました。

これは、えひめ国体の柔道競技で武道館が会場となるためです。

これまでの武道館の柔道畳は、講道館ルールに沿った仕様であったが、平成18年12月の国際柔道連盟理事会において新国際ルールが採用されていることから、その仕様の柔道畳に新調された。

○試合場の規格

場内：9.1m四方(同左) → 8.0m四方～10.0m四方(8m)

場外：2.73m → 3～4m(3.28m)

(注)カッコ内は当館サイズ

○畳の色

山葵色(場外との境界のみ赤色)



場内：レモンイエロー

場外：エメラルドグリーン

の仕様となりました。

①柔道畳のお披露目として平成26年1月5日に開催された愛媛県武道館10周年記念の鏡開き式で新春から約1600名が参加して盛大に開催されました。

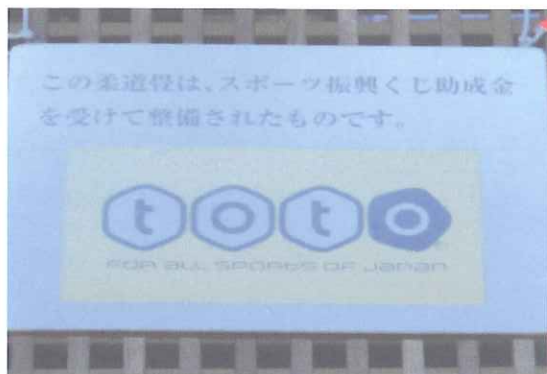


鏡開き式



選手権大会及び中学生体重別選手権大会

②平成26年2月2日にこけら落しとして開催された愛媛県柔道選手権大会及び愛媛県柔道中学生体重別選手権大会の様態です。



今回整備された柔道畳の一部に「公益財団法人日本スポーツ振興センター」からスポーツ振興くじ助成金(toto)を受けて整備されており、武道館主道場の南面西側出入口の上に看板が設置されています。

2013年12月15日(日)、愛媛県武道館柔道場で「ALSOK柔道教室」が開催された。愛媛県内の中学生・高校生が会場の関係で定員は決まっていたが、200名以上の生徒が参加した。

講師として、全日本柔道連盟の井上康生男子監督(東海大学)、塚田真希コーチ(総合警備保障株式会社)、全日本柔道連盟強化選手の中矢力選手(総合警備保障株式会社)、田知本遥選手(総合警備保障株式会社)の4名と、総合警備保障株式会社柔道部の小橋秀規監督が来てくださった。

まず、井上康生監督の柔道についての講話を聞くことができた。その後、トークショー形式で、講師の方々と交流を交えて、オリンピックでの経験や、柔道を始めたきっかけ、食生活など、トップレベルの選手たちの大変貴重な話を聞くことができた。始めは緊張していた生徒たちも、次第に積極的に質疑応答に参加するようになった。

技術指導では、全日本強化合宿でも行われている



最後に、講師の方と一緒に集合写真を撮影した。撮影後は、サインを求める参加者に対して時間いっぱい対応していただいた。

今回の柔道教室を通して、地方への柔道普及だけでなく、生徒たちが抱えている夢を実現させるためにも大きな力となったものと思われる。参加した生徒の中からオリンピック選手が誕生することを期待したい。

このような機会を作っていただいた主催の総合警備保障株式会社、松柔会、(財)愛媛県柔道協会のみなさまに心から感謝を申し上げたい。



ストレッチやトレーニングを体験した。

また、中矢力選手の背負投、塚田真希コーチの大外刈、井上康生監督の内股など、スピードと迫力のある技に参加した生徒たちは目を輝かせ、技を仕掛けるタイミング等の説明を熱心に聞いていた。

さらに、講師と生徒たちが乱取り稽古をすることもでき、参加した生徒たちは、時折、笑顔を見せながらも真剣な表情で稽古に励んでいた。



平成25年10月27日（日）に愛媛県武道館開館10周年記念・愛媛県体育協会創立90周年記念と銘打って、大相撲巡業松山場所を5団体（愛媛県相撲連盟、愛媛県、愛媛県スポーツ振興事業団、愛媛県体育協会、愛媛新聞社）が実行委員会を構成し、愛媛県武道館で開催しました。

松山市では15年ぶりの開催となる大相撲巡業。当日は天気にも恵まれ、開場前からたくさんのお客様が愛媛県武道館の前に長蛇の列をつくり、開場を待ちわびていました。



正門前の石垣の上には、のぼり旗が風になびき、開場時には正門前で呼び出しによる触れ太鼓が打たれ、大相撲巡業開催の雰囲気盛り上げました。

この巡業には、序二段以上の力士約120人が参加しましたが、開場する前から番付下位の者から順番に稽古を行い、お客様が中に入ってくる8時頃には関取衆の稽古時間となります。

稽古は、「申し合い」と呼ばれる勝ち残り形式で行われ、平均体重150kgを越える大男達の激しいぶつかり合いに来場者から大きな歓声が上がっていました。

申し合いの後、稽古の仕上げとして受け手の胸にぶつかり、連続で何十回も押しを繰り返す「ぶ



つかり稽古」を行います。横綱日馬富士関が、愛媛県西予市出身の片男波親方（元関脇玉春日）の弟子、

玉飛鳥関を特別に指名して、泥だらけになるまでぶつかり稽古で鍛えていました。横綱も「サービス！」としきりに言っていました。相撲界では「かわいがり」と言い、強くなるように期待を込めて行うもので「いじめ」ではありません。

公開稽古の後、大山親方による相撲の歴史と

所作の説明、相撲体操の実演解説など今までになかった催しもありました。玄關ホールで行われた握手会も途切れることなく、人気力士が代わる代わるに現れて、笑顔で対応しており、ファンに対するサービスも15年前の巡業と比べると格段に向上しているように思いました。

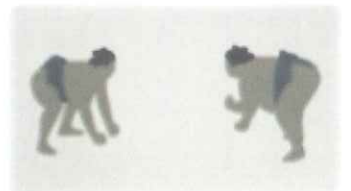
ちびっこ力士と関取の稽古、初っ切り、相撲甚句（歌）などで盛り上がったあとは、十両土俵入り、幕内土俵入り、横綱土俵入りと行われました。

取り組みも番付が上がるごとに重厚さを増していき、三役格になってくると、ぶつかり合う音が違い、人間と人間がぶつかり合う「バスン！」という鈍い音が館内に響きわたると5千人の来場者から、大きなどよめきが起こっていました。



最後の一番は、横綱同士の一騎打ち。白鵬が立ち合いのカチ上げで日馬富士を土俵下まで吹っ飛ばし、第一人者としての貫禄を示しました。

当日お越し頂いたお客様は、直接見る力士のカラダの大きさや激しくぶつかり合う音など、テレビではわからない生の迫力に満足して武道館を後にしていました。



開祖 宗道臣は、すべてのものが「人」によって行われるとすれば、真の平和の達成は慈悲心と勇気と正義感の強い人間を一人でも多く作る以外ないと気づき少林寺拳法を創始されました。

少林寺拳法の修練の目的は、己を修め、己に克ち、自己を確立して、それを寄り所とするに足る人間になること、力に裏づけされた勇気と行動力を持った人間になることです。

しかし少林寺拳法は特定の人だけが行うものではなく、万人が楽しめるものとして体系づけられています。その普及のため、少林寺拳法を老若男女誰もが楽しめるように体力に応じてコース制を設け、気軽に楽しめるようになっています。



我々愛媛県少林寺拳法連盟は、大会運営、武道館行事への参加を通して、少林寺拳法の普及に努めています。



◆大会日程◆

少林寺拳法愛媛県大会

日時 6月8日 9時～

場所 愛媛県武道館



H26年度も、武道館はやります!!

スポ・レク教室

初心者を対象とした教室です。運動不足のあなた!ぜひはじめの一步を...



運動神経がUPする体操講座

ひろーい畳の上でめいっぱい体を動かして運動神経をUPさせよう!

レクハレー大会

楽しく参加できる大会です!初挑戦のチームも大歓迎!!



武道入門講座

柔道・空手道・剣道などいろいろな武道が体験できる講座です!

体操のお時間

トレーニングルームご利用の際に指導員と一緒に体操をしましょう!!



○武道館では上記以外にも様々な事業を実施しております!詳しくは、ホームページまたは武道館までお問い合わせください。

愛媛県武道館ホームページ



モバイル用



パソコン用

